学校番号	3030

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語探究Ⅰ	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	「論理国語」（筑摩書房）「古典探究　古文編」（大修館書店）「古典探究　漢文編」（大修館書店）名作を味わう定番小説選　　数研出版「読解を深める　現代文単語評論・小説」（桐原書店）「新版完全制服　頻出　入試漢字コア２８００　改訂版」（桐原書店）「新訂版　最新国語便覧」（浜島書店）「新精選　古典文法　三訂版」（東京書籍）「精説　漢文　改訂版」（いいずな書店）「新版　理解を深める　核心古文単語３５１」（尚文出版）「現代文　長文記述　問題集２　読解力養成編　三訂版」（いいずな書店）「現代文　長文記述　問題集３　入試必修編　三訂版（いいずな書店） 「三訂版　プログレス　古文総演習　標準編」（いいずな書店）「三訂版　プログレス　漢文総演習　標準編」（いいずな書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働して考える活動を中心とします。正しく読み（聞き）、正しく書く（話す）ことを意識し、コミュニケーションツールとしての言語能力を伸ばしていきましょう。それにあたり、自身の読みと他の人の読みを比べながら読みを深めることも意識していきます。
・「書く能力」、「読む能力」をバランスよく身につけ、様々な文章に対応できる読解力を築いてください。
・課題等はGoogleフォーム等を通じて提示することが多いので、確認を怠らないようにするとともに、真摯に取り組んで応用力を身につけましょう。

２　学習の到達目標

・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力や古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	文章の種類や特徴に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができている。	・「書くこと」の領域において、実社会の中や自分の知識、体験から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味し、表現したいことを明確にするとともに、その思いが明確に伝わるように構成や展開など表現の仕方を工夫している。 ・「読むこと」の領域において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について多面的・多角的な視点から考察、評価することができている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	人と世界を結ぶことばの働きを理解する ［教材］ 『一〇〇パーセントは正しくない科学』 『物語るという欲望』	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができている。 b[読]：評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができている。 c：文章の内容や形式など、対象とするものの特性や価値などについて、それぞれの立場からの考えを述べ合うなどして、考えの相違点や共通点を基に論じ合おうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	小説から情景や心情を読み取る ［教材］ 『山月記』	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]：読解を通して、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。 c：他作品と比較する中で、原作のなかで強調された部分や省略された部分に気付いたり、変更した人の原作の解釈の特徴を明らかにしたりしようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	様々な作品に触れ、解釈の基礎を身に付ける ［教材］ 『十訓抄』 『方丈記』	a： ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)ア】 ・古典などを読むことをとおして、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。【(2)ア】	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート

		b: ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている。【(1)ア】 ・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することをとおして、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。【(1)ク】 c: ・説話文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・仏教的無常観にもとづく、作者の考えについて理解を深めようとしている。			
	身近な物事を分析し、その仕組みを捉える ［教材］ 『ファッションの現象学』 『本当は怖い「前提」の話』	a: 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使うことができている。 b[読]:読解を通して、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価することができている。 c:内容や形式について、吟味の結果を評価として述べたり、評価として述べられたことを、互いに共有して、その適否や妥当性を検討して自分の考えを深めようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	歴史物語や歴史書を読んで当時の状況を読み取る ［教材］ 『大鏡』 『史記』	a:読むことを通して、我が国の文化の特質について理解を深めることができている。 b[読]:内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすることができている。 c:古典の文章や作品に表れた、人間、社会、自然などについての見方や考え方などを読み取り、それらについて考察しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
後期	偏見や先入観にとらわれない議論のあり方を考える ［教材］ 『沖縄戦を聞く』 『数字化される世界』	a:文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができている。 b[書]:レポートや小論文を書き、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めることができている。 c:形成された自分の考えを、場面や目的に応じて、適切に必要な文章にまとめて、分かりやすく伝えようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	「自己」を追い求める近代の特色について考える ［教材］ 『こころ』	a:我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]:語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c:事実と考えを明確に分けることや、適切な論拠に基づくことなどに注意して議論しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	長編物語を読み人物造形や心理描写について学ぶ	a:古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めることができている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート

	［教材］ 『源氏物語』	b[読]:文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができている。 c:固有の特徴や修辞、文体などを正しく理解した上で、巧みな描写、繊細な表現、簡潔な語調などを味わおうとしている。			振り返りシート
	ことばと社会の関係を意識する ［教材］ 『現代日本の開化』 『変貌する聖女』	a:言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]:読解を通して、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めることができている。 c:社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりしようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	当時のものの見方・考え方を知る ［教材］ 『更級日記』 諸子百家	a:読解を通して、先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めることができている。 b[読]: 読解を通して、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することができている。 c:書き手独自の思想や論の進め方の特徴、作品や文章の優れた点を考察したりするために読もうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　０　　）時間

・書くこと　…　（　　３５　　）時間

・読むこと　…　（　　１４０　　）時間